

「い合い」

しせいかん 少路小学校二年 中村 周平

ぼくは、坂本りよう馬が大すきです。小さいころから、プラスチックや木の刀をふりまわしてあそんでいました。ほいく園の時、兄がい合いをはじめました。兄を見てかっこいいなと思いました。そして、年長の時にい合いをはじめました。はじめたときは、一番下で、どうぎを一人できることができました。

入ってすぐ、へいあんじんぐうの大会に出してもらいました。少しきんちょうしましたが、まちがわずにできました。その後、しけんをうけて、九きゆうをもらいました。今年も全国大会があり、来年はフランスで大会があるそうです。ぜったいフランスへ行きたいです。そのため、一生けんめい練習します。

二年生になった四月に、中学生と一年生の後はいが入ってきて、先ばいと言われるようになりました。これからは、先ばいや後はいにまけないようにけい古して、体と心をきたえていきたいと思っています。

